

「物流の基本と現場改善の進め方」

6/21 (金)

ワクコンサルティング株式会社

<https://waku-con.com/>

オンライン研修とは

オンライン研修はTV会議システム（Zoomなど）を活用したWeb型の研修で、動画をライブ配信してコミュニケーションを双方向で取ることができるものです。講師PCから直接各受講者のPCへネットをつなぎ、テキストも共有しながら講義を進める形となります。



オンライン研修の特徴

- オンラインで可能な演習もご用意しています。
- LIVEで繋がっていることでQ&Aも可能です。
- オンラインだから在宅中でも受講が可能です。
- TV会議システムは貴社のシステムでも弊社のシステムでもどちらでも対応は可能です。

(無線通信が遅くなる、または遮断されるケースは個人様のお取り扱いの範囲になるため、保証は出来かねますので ご注意ください)

無線通信 (Wi-Fi) が遅くなる、または遮断される原因。

1. ルーターからパソコンまでの距離が遠い。
2. ルーターとパソコンの間に電波を通しづらい障害物がある。
3. ルーターとパソコンの間にWi-Fiと同じ周波数を発する電子機器がある。
4. 無線ルーターまたは、受信機 (子機) が機械的に劣化している。

物流の基本と現場改善の進め方 目的と概要

目的と概要

研修概要

- 7時間で昨今の物流事情を踏まえた重要事項を学習する。
- 講師による講義と簡単なワークを盛り込む。

目的

- 物流初心者が必要最低限の物流基本知識と改善スキルを習得する。
- 物流業や荷主企業のお客様に提案営業を行う際に会話できるスキルを習得する。
- 特に最近最も課題になっている輸送改善についてその手法を理解する。
- お客様の業界での困りごとを理解し、ソリューションにつなげる。

参加対象

- 物流に関する知識がほとんどない方
- 物流に興味のある方、営業上必要と感じる方

物流の基本と現場改善の進め方 受講者の声

受講者の 声

- ・現場のリアルな状況や課題感などイメージでき、非常に勉強になりました。物流システムを扱う上で抑えておいた方が良い重要な数値も強調して説明くださったため、記憶に残りました。
- ・トヨタ生産方式での改善を物流業界に持ち込むことで、まだまだ効率化できるということが分かり非常にためになりました。
- ・物流の基礎について、社会的な現状や事例・課題と共に説明いただき、具体的なイメージを持って理解することができました。
- ・現状の課題点のポイントが理解できた。
- ・非常に分かりやすい説明で物流の背景と輸送改善のポイントについて理解することができました。
- ・物流の現状調査方法や基準値の作成方法、又後半はメインとなる輸送費の改善方法について詳細に丁寧にお教え頂いた。

物流の基本と現場改善の進め方 スケジュール



日程	講義内容	講師	タイムスケジュール	各想定時間
1日	オープニング	仙石	9:30~9:40	10分
	1章. 物流環境の実態と国の政策		9:40~10:40	1時間 (休憩5分)
	2章. サプライチェーン・マネジメント		10:40~11:40	1時間 (休憩5分)
	3章. 物流スタッフが必要とする管理領域		11:40~12:20	40分
	昼休み		12:20~13:20	1時間
	3章. 物流スタッフが必要とする管理領域		13:20~14:00	40分 (休憩5分)
	4章. 物流品質について理解する		14:00~14:30	30分
	5章. 物流工程別現場改善のポイント		14:30~15:30	1時間
	6章. 輸送改善の取り組み		15:30~17:15	1時間45分 (休憩あり)
	まとめ		17:15~17:30	15分

物流の基本と現場改善の進め方 アジェンダ

1. 物流環境の実態と国の政策

- 1) 規制緩和の影響
- 2) 労働環境の実態
- 3) 最近の国土交通省の施策

2. サプライチェーン・マネジメント

- 1) 物流とロジスティクス
- 2) 物流管理とサプライチェーン・マネジメント
- 3) 物流自体をも効率化するサプライチェーン・マネジメント

3. 物流スタッフが必要とする管理領域

- 1) SCM 実行のために必要な 3 領域
- 2) 物流作業の標準化
- 3) 物流標準時間の基礎
- 4) 委託先マネジメント
 - ◆ワーク①：標準作業書の作成
 - ◆ワーク②：委託先評価項目の作成

4. 物流品質について理解する

- 1) 物流品質の種類
- 2) よくある物流品質不良
- 3) 物流品質向上施策

5. 物流工程別現場改善のポイント

- 1) 調達・入荷工程
- 2) 入庫・保管工程
- 3) 出庫・供給工程
- 4) 引き取り・梱包工程
- 5) 出荷・輸送工程
 - ◆ワーク③：簡単な物流改善

6. 輸送改善の取り組み

- 1) ほとんどの会社できていない輸送基礎データ管理
- 2) 輸送効率化の基本的な考え方
- 3) 積載率管理の具体的方法
- 4) ラウンド輸送を活用した積載効率向上の取り組み方
- 5) 積載率向上のカギを握る荷姿
- 6) JIT と輸送費削減を両立させる巡回集荷(ミルクラン)のポイント
 - ◆ワーク④：混載の条件

7. まとめ



仙石 恵一（せんごく けいいち）

ワクコンサルティング（株） デイレクターコンサルタント

日産自動車株式会社で生産管理、物流管理、購買管理に携わることに従事。

その後ルノー・日産共同購買会社出向（Renault Nissan Purchasing Organization DGM）仏ルノー社と連携し、サービス（物流および部品以外の購入品）購買業務に携わる。日米欧で共通の購買業務ルールの構築、グローバル集中購買の確立により30%を超える大幅なコストダウンの実施、物流購買の目玉として部品を自ら引き取る（ミルクラン）調達物流改革を実現。

2005年～2007年、東風日産乗用車公司（中国、広州市）出向、サービスサポート購買部 副部長として中国にグローバル購買方式の導入、物流会社に対する改善手法の伝授、物流会社の倉庫業務、輸送業務改善指導による大幅生産性向上の実現。

2008年～2012年、ユニプレス株式会社、生産管理部主管、監査室長、総務部長として輸出物流改善活動、関連企業の生産、物流改善指導、内部統制業務の確立、全社リスクマネジメント導入、法務業務、会社総務全般を支援。

2013年、Kein物流改善研究所設立。今までの物流管理、生産管理等の経験を活かし、真のサプライチェーン構築を支援するために活動を開始。物流改革コンサルティング、講演、執筆活動を実施。

専門分野：輸送改善、構内物流改善、物流現場管理および人材育成のしくみ等の研究、支援。